

こうじ
工事の
げんば
現場より

旧矢筈原家住宅 保存修理事業

今はこんな様子だよ。

2月4週目

修理現場から
文化力
POWER OF CULTURE



今回工事では建物内部の劣化・破損箇所の修理を行う予定で、対象の畳や建具の取り外し・搬出を行いました。壁や床の部分的な解体を伴う工事を予定しているため早々に実施しましたが、戻すのは工事の終盤となります。約1年後適切な状況で戻せるよう、現状の確認と記録作成が重要です。

取り外し・搬出作業に際しては調査が行われ、修理方針の検討も行いました。伝統工法により作られたものは、ある程度の決まり事はありつつも建物ごとの特殊性が見出されるのがほとんどです。旧矢筈原家住宅の保存継承として適切な在り方について、施工者とも協議を行いながら検討を進めました。



場所を記録する「番付」をそれぞれに記してから取り外し、丁寧に運び出していきます。

畳は場所を記録するとともに、部屋の詳細な長さも調査し記録を取りました。



すでに破損していた箇所を部分的に剥がして、紙の重ね方・種類などの現状を調査しました。調査をもとに修理方針を検討します。

畳は表替え、襖や障子は紙の張り替えを実施予定です。



過去の
お知らせは
こちら

